

令和2年度 情報科

| | | | | | | | |
|-------|--------------------------|----|-------|-----|-----|----|-----|
| 教科 | 情報科 | 科目 | 社会と情報 | 単位数 | 2単位 | 年次 | 1年次 |
| 使用教科書 | 最新社会と情報 新訂版 (実教出版) | | | | | | |
| 副教材等 | 最新社会と情報 新訂版 学習ノート (実教出版) | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・授業は教科書と学習ノートを用いて講義を行うことと、コンピュータを使って与えられた課題を作成していく実技とがあります。
- ・「情報社会」と呼ばれるこの社会の様々な知識を知り、情報教育の3つの目標である「情報活用の実践力」「情報の科学的な理解」「情報社会に参画する態度」について学習します。
- ・実技についてはLAN教室でコンピュータを1人1台を使い、個人学習だけでなく、グループ学習を行いながら実践力を向上していきます。

2 学習の到達目標

- ・ 情報及び情報技術を活用するための知識と技能を修得する。
- ・ 情報に関する科学的な見方や考え方を培う。
- ・ 社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解する。
- ・ 社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を身につける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:技能 | d:知識・理解 |
|-----------------------|--|---|--|--|
| 観 点 の 趣 旨 | 情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。 | 情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するため情に、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。 | 情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。 | 情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。 |
| 評 価 方 法 | 学習ノート提出を中心とした課題、授業態度 | 学習ノート提出を中心とした課題、授業態度 | ・調べ学習や課題製作における取り組み内容 | ・調べ学習や課題製作における取り組み内容 ・考査【前期第2中間考査、後期中間考査】 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|----|------------------|------------------------|---------|---|---|---|---|-----------------------------|
| | | | a | b | c | d | | |
| 前期 | 情報社会と私たち | 情報モラルと社会のルール (1)(2) | ○ | ○ | | ○ | a: データ, 情報, 知識の違いを理解できる。 b: デジタル化された情報の正しい利用方法, コミュニケーションの特徴を理解している。 c: 情報化の光と影について理解し, 具体例を示すことができる。 d: 個人情報の概念や, 個人情報保護について理解している。 | 学習ノート 課題 観察等 |
| | | 情報とメディア | ○ | | | ○ | a: 情報やメディアの特徴, 分類, 特性について知識を持っている。 b: 情報の信憑性や信頼性を理解している。 c: メディアリテラシーの概念を理解している。 d: CM の分析方法を理解し, 情報を分析して発信者の意図を理解できる。 | 定期テスト |
| | コミュニケーションとネットワーク | ネットワーク | ○ | | ○ | ○ | a: 通信方式とその相違を理解している。 b: インターネットのプロトコル及び LAN の基本知識がある。 c: インターネットの基本的なサービスの内容と利用方法を理解している。 d: ネットワークの転送速度とデータ圧縮に関する知識がある。 | 学習ノート 課題 観察等 定期テスト |
| | 情報技能の基礎 | excel を使った時間割製作 | ○ | | | ○ | a: 情報を伝達する際の注意事項について理解している。 b: 時間割製作を改善する方法について理解している。 c: 時間割の作成に文字・表・図形・画像などを効果的に用いる方法を理解している。 | 課題製作 観察等 |

| | | | | | | | |
|----|-----------|-----------------------------|---|---|---|---|--------------------|
| 前期 | 情報技能の基礎 | パワーポイントを使ってのグループ学習発表 | ○ | ○ | | <p>a:グループでプレゼンテーションの企画から制作・発表・評価まで積極的に関わっている。</p> <p>b:プレゼンテーション制作の流れを理解している。</p> <p>c:プレゼンテーション制作の各段階のポイントを理解している。</p> <p>d:画像, 音声, 動画など多様なメディアを効果的に利用する方法を理解している。</p> | 課題製作 観察等 |
| 後期 | 情報社会と問題解決 | 情報モラルと社会のルール (3) (4) (5) | ○ | ○ | ○ | <p>a:知的財産の体系を理解している。</p> <p>b:産業財産権と著作権の種類と内容を理解している。</p> <p>c:著作権の例外規定を理解している。</p> <p>d:インターネットに係わる各種法律を理解している。</p> | 学習ノート |
| | | 情報システムと人間 | ○ | ○ | ○ | <p>a:情報セキュリティ対策の必要性を理解している。</p> <p>b:社会における主な情報システムの種類と内容について理解している。</p> <p>c:ユーザビリティやアクセシビリティに関する知識がある。</p> <p>d:サイバー犯罪など情報社会の課題について理解している。</p> | 課題 観察等 定期テスト |
| | | 問題解決 | ○ | ○ | | <p>a:問題解決の手順と解決するための工夫を理解している。</p> <p>b:問題解決のための情報収集やアイデア収集・分類の手法を理解している。</p> <p>c:統計処理の手法を理解している。</p> <p>d:テキストマイニングを理解している。</p> | |

| | | | | | | |
|--------|---------------------|----------|---|---|---|-------------|
| 後 期 | 情報 技能 の 基礎 | 表計算ソフト実習 | ○ | ○ | a:表計算ソフトへのデータの 入力と抽出ができ、関数を利用 できる。 b:表計算ソフトを利用し、条件 に合うデータの検索ができる。 c:目的に応じて数値の変化や 割合などをわかりやすいグラ フで表現できる。 | 課題製作 観察等 |
| | | ホームページ製作 | ○ | ○ | a:テーマに沿ったコンテンツ を制作している。 b:文字の大きさ、配置などデザ インやレイアウトを工夫し、受 信者に情報が伝わりやすいか。 c:ハイパーリンクの構造が適 切か、リンク可能か。 d:他者の評価を適切にしてい る。 | 課題製作 観察等 |

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
 c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。